

おきたま米づくり情報 No.10

平成 30 年 9 月 7 日
JA 山形 おきたま
やまがた攻めの米づくり日本一運動
置賜地域本部

- 出穂は平坦部はえぬきは 8 月 2～5 日頃、つや姫、コシヒカリは 8 月 7～10 日頃、雪若丸は 8 月 1～4 日となり、各品種とも平年より 3～4 日早く、登熟も例年より進んでいる状況です。
- 今年はお穂後 10 日間の気温が高く推移したため、胴割れ粒の発生が懸念されます。刈遅れはさらに胴割れ粒の発生を助長します。速やかに刈取り準備を整え、適期内に刈終えるよう、作業計画を立てましょう。

圃場ごとの登熟状況のバラツキ大！ 刈遅れによる 胴割れ・茶米に注意！

- 出穂期や㎡あたり籾数の違いにより、登熟の進みに差がみられます。登熟状況をこまめにチェック！

籾数の少ない圃場は → 急激に登熟進み、刈取り時期早まる遅れず刈り始めましょう！

【㎡あたり籾数】「はえぬき」：平年並み 「つや姫」：平年並～やや少ない

○農業技術普及課生育診断ほ「はえぬき」の穂揃期の生育・登熟状況

地域	年次	出穂期	穂数 (本/㎡)	1 穂籾数 (粒)	㎡あたり籾数 (百粒/㎡)	葉色 (SPAD)	登熟歩合 (%) 9 月 3 日現在
川西町 上小松	H30	8/3	603	65.5	395	37.2	57.0
	平年	8/6	581	67.5	391	34.0	52.6
	平年比・差	-3 日	104	97	101	+3.2	+4.4
飯豊町 椿	H30	7/31	547	69.7	381	33.4	79.0
	平年	8/4	552	71.4	390	35.7	63.3
	平年比・差	-4 日	99	98	98	-2.3	+15.7

農業技術普及課生育診断ほ「つや姫」の穂揃期の生育・登熟状況

地域	年次	出穂期	穂数 (本/㎡)	1 穂籾数 (粒)	㎡あたり籾数 (粒/㎡)	葉色 (SPAD)	登熟歩合 (%) 9 月 3 日現在
川西町 上小松	H30	8/7	465	75.3	350	34.5	40.2
	平年	8/12	482	71.7	346	31.3	28.2
	平年比・差	-5	97	105	101	+3.2	+12.0
飯豊町 椿	H30	8/7	488	69.8	341	31.2	41.3
	平年	8/10	477	69.8	333	33.1	46.1
	平年比・差	-3	102	100	102	-1.9	-4.8

刈取り速やかにスタート！

○刈取りは出穂後の積算気温（下表）を目安にしますが、品種、ほ場ごとに

①刈り始めの青籾歩合 ②籾水分（25%以下） ③枝梗の黄化（3分の2以上）

等を確認し、適期を見極めましょう。

○**籾数の少ない圃場では、急激に登熟が進み、刈取り時期が早まります。遅れず刈り始めましょう。**

表 出穂後積算気温による刈取り適期の目安（平坦：高畠アメダス、中山間：高峰アメダス）

品種名	積算気温	刈り始めの青籾歩合	出穂期（本年）	刈取り時期の目安
ひとめぼれ	950～1,100℃	15%	8月2日頃	9月12日～ 9月18日
雪若丸	950～1,200℃	15～20%		9月12日～ 9月24日
はえぬき（平坦）	950～1,200℃	20%	8月3日頃	9月13日～ 9月25日
はえぬき（中山間）			8月6日頃	9月18日～ 10月3日
つや姫	1,00～1,200℃	15%	8月8日頃	9月22日～ 10月3日
コシヒカリ				

※8月29日まで実測値、以降は平年値の平均気温を使用。

乾燥・調製は慎重に仕上げましょう！

○収穫後は速やかに乾燥機に張り込むことが基本ですが、すぐに乾燥できない場合には通風を行い、ヤケ米の発生を防ぎます。

○高水分籾（水分25%以上）を急激に乾燥すると胴割れやすくなるので注意が必要です。青籾が多い（籾水分のバラつきが多い）場合は、最後に「常温通風乾燥」や「低温での乾燥」を行い、籾水分のバラつきを少なくします。また、「水分の戻り」に注意し、「夜間休止乾燥」や「二段乾燥」を行いましょう。

○籾摺り前に籾温や籾水分を確認し、必ず試し摺りをして、肌ずれ米の発生を防ぎます。

◎**良質米生産のために、1.90mm網目（LL）以上で選別します。**

STOP！農作業事故！～秋季農作業事故防止強化期間中～

◎収穫期はコンバインの事故が多発！補助者の事故にも十分注意！

◎コンバインの籾詰まり除去は、必ずエンジンを停止してから行いましょう。

雑草イネの発生に注意！

穂を触ったら籾がポロポロ落ちる、

玄米に赤米が混じる場合には雑草イネの可能性大！

◎雑草イネが疑われる場合には普及課、JAへご相談を！

